

ほげい船

第95号 | 2024年
11月

基本 理念

私達は心のこもった
医療を行い、地域に
信頼される病院となる
ことを目指します。

独立行政法人

国立病院機構高知病院

A Whaling Ship



令和6年10月29日高知病院入口前交差点が
開通し、車の出入りがスムーズになりました。

【目次】



● 逆風の中でも患者さんに寄り添う医療 ：医療の質向上と防災への取り組み	2	● 療育指導室だより	7
● 新任職員紹介	3	● 感染管理室だより	8
● 職員の異動	3	● 第7回(令和5年度)高知病院 谷淳吉記念賞 表彰者	8
● 患者図書館のご案内	3	● 医療安全管理室だより	9
● 診療科紹介／整形外科	4	● 看護学校だより	10
● 第77回 高知県医師会医学会	5	● 地域医療連携室だより	11
● 第20回 日本医療マネジメント学会高知県支部学術集会	5	● 地域連携等概況	11
● 栄養管理室だより ・高知県で多く収穫される【秋なす】のレシピ紹介	6	● 外来診療担当表	12



院長
先山 正二

逆風の中でも 患者さんに寄り添う医療 ：医療の質向上と防災への取り組み

最近ようやく秋の訪れを感じることができるようになりました。近年気候変動により日本の四季の移ろいも以前とは少し変わってきたように思われますが、二十四節気は、字の如くではなくとも、今もって日本の気候の変わり目を予感、自覚させてくれます。今年は10月23日が「霜降」、11月7日が「立冬」です。この原稿はこの間の時期に書いています。拙文を皆様にお読みいただくのは「小雪」、「大雪」の頃でしょうか。

さて、当院においては日本医療機能評価機構による病院機能評価（3rdG:Ver. 3.0）を受審していましたが、無事8月末に認定通知を受領しました。受審した病院機能種別は一般病院2のカテゴリーで、これは「主として、二次医療圏等の比較的広域において急性期医療を支える基幹的役割な役割を担う病院」として求められる病院機能をガバナンスを含めて多角的に評価されるものです。今後とも当院は安全、安心で信頼と納得の得られる医療を継続して提供して行きます。

コロナ前は日頃病病連携、病診連携等でお世話になっている皆さんをお招きして開催していた地域医療連携連絡会を8月3日に5年ぶりに以前のように多くの皆様にご参加いただき開催致しました。その際、高知大学防災推進センターの岡村 眞客員教授をお招きして南海トラフ地震に関するご講演をいただきました。地震発生のメカニズム、本県で生じるであろう地殻変動、津波、浸水状況、それに伴う被害状況、そしてそれに基づく医療機関としての備えについての貴重なご講演でした。この講演から5日後に日向灘地震の発生を契機として「南海トラフ地震情報（巨大地震注意）」が発表された際には講演を聴いてい

たこともあり否応なしに緊張感も高まりました。注意報が発出されてから1週間、病院幹部1名は夜間休日も病院で待機していました。災害拠点病院としてこれまで以上に災害対策のさらなる強化に取り組んでいるところです。前年度には病院の外壁を含めて美化と災害対策の観点から建物の整備を行なっています。

10月29日病院前の公道から当院へアクセスが改善されました。長年にわたり県道から車での当院への出入りが非常に不便でしたが、以前から計画されていた道路、交差点整備が完了し、より安全、便利になりました。

今年度は診療報酬改定に加えて、光熱費、物価、人件費の高騰など医療界には概して逆風が吹いています。診療報酬は国により全国一律に定められる公定価格であり、増加するコストを価格転嫁することはできませんので、病院の“財布”には優しくはありません。しかし、これからも、当院は「患者さんに優しい、職員に優しい、環境に優しい」をモットーに、職員が一丸となり、知恵をしぼり、汗をかいて、より手入れされた院内環境のもと、良質な医療を提供してゆきます。



新任職員紹介

9月1日より企画課に配属になりました専門職の福原雄一（ふくはら ゆういち）と申します。

これまでは岡山県のハンセン病療養所で勤務しており、久しぶりの病院勤務となります。1階の受付の中にいますので、患者さんのみなさまとお話する機会も多いかと思えます。

私は舗装されていない登山道などを走るトレイルランニングやジョギングが趣味で、先日は高知城まで走って行ってきました。高知県で生活するのは初めてで、行ったこと

がないところばかりなので、週末にはいろいろな山や景色を見に行こうと計画しています。

まだ至らないところも多々あると思いますが、他の職員とも協力しながら、みなさまに必要とされるようになりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



企画課専門職

福原 雄一

7月2日付～11月1日付の 人事異動（常勤）

転 入	
▶ R6.9.1	
企画課専門職	福原 雄一

退 職	
▶ R6.7.31	
看護師	中村 早穂
看護師	白石 亜里紗
▶ R6.10.31	
看護師	高木 文香

職員の異動



患者図書館のご案内

当院は、入院生活の潤いと読書の楽しみによる癒しの場の提供を目的として、患者図書館を開室しています。小説や健康、絵本や児童書など当院を受診されている方、入院されている患者さんやご家族の方々にご利用できます。なお、室内での飲食はご遠慮いただきますようお願いいたします。

● 場所

1階エントランス「TUKANOMA（つかのま）」コーナーを左に曲がってすぐ

● 開室時間

月曜日～金曜日（年末年始を除く） 9:00～16:00

● 貸出と返却

入院患者さんには、本の貸し出しも行っていきます。

（1回2冊まで）貸出期間は1週間です。

貸出申込書に本の「種類」「番号」「氏名」「貸出日」を書いて貸出図書ボックスに入れてください。

本の返却は、図書室内の返却ブックポストに本を入れてください。



患者さんからの声

「よく利用しています」
「図書室があってうれしい」といった声をいただいています。





副院長
福田 昇司

診療科紹介

整形外科



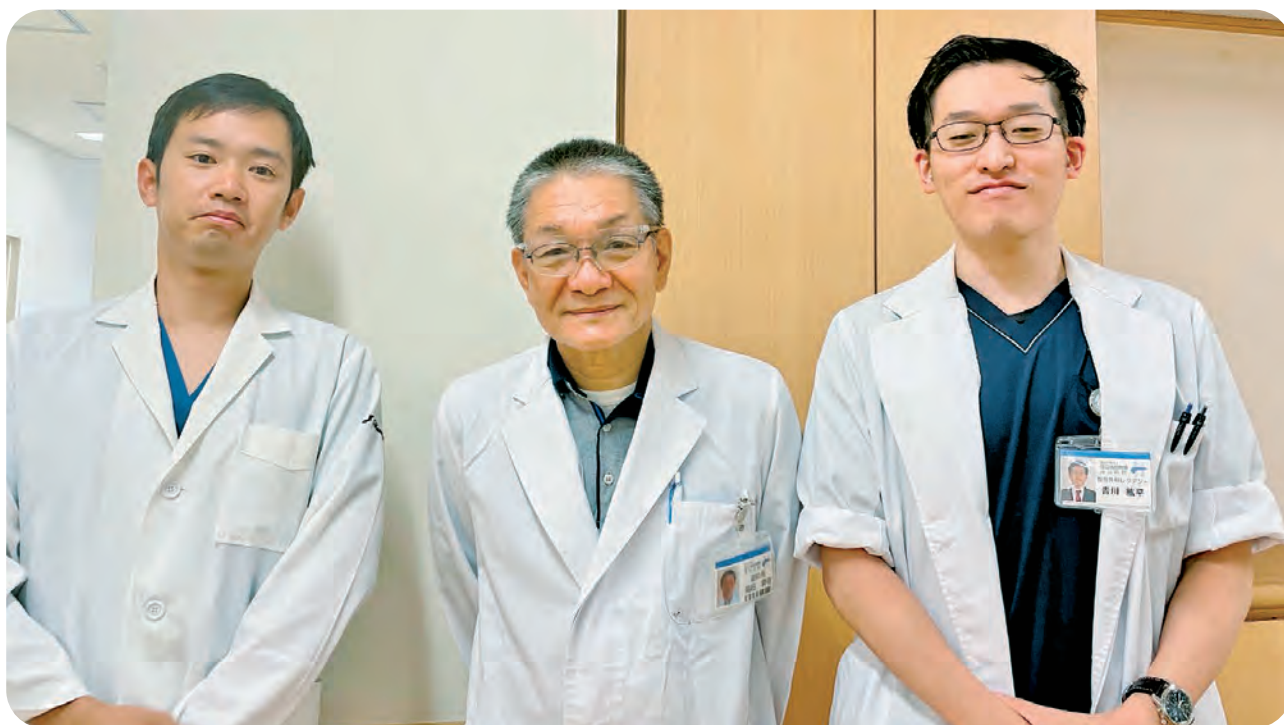
整形外科では骨折や関節脱臼などの外傷に加えて、加齢に伴う関節軟骨の磨耗、スポーツや仕事などでのオーバーユースによる障害など、担当する領域は多岐にわたります。高齢化の進む高知県では、高齢者の転倒による骨折や変形性関節症などの変性疾患に対する手術が年々増加しております。したがって、高齢者でも体に負担の少ない低侵襲手術の需要が高まっています。

当院では肩、膝を中心にほとんどの関節で関節鏡を用いた手術をおこなっています。関節鏡手術は5mmほどの皮膚切開により行えるため、筋肉へのダメージが少なく、早期の復帰を望むスポーツ選手だけでなく、内科的な合併症のある高齢者にも適しています。

関節の破壊が進んで関節鏡手術では治療ができない場合には人工関節手術を行います。手術中の人工関節の正確な設置が成績を左右しますが、当院では2016年より人工股関節置換術にコンピューターによるナビゲーション手術を導入しています。非常に高価な設備のため、県内

でナビゲーション手術を施行している施設は多くはありません。また、肩関節ではリバース型人工肩関節でも2020年からナビゲーション手術を開始しました。治療の詳細に興味がある方は当院ホームページの診療科ご案内から整形外科をクリックしてください(<https://kochi.hosp.go.jp/section/seikei.html>)。

2023年10月のスタッフの移動により、脊椎外科医が不在となりましたが、整形外科の手術件数は2016年以降毎年増加しています。術後は定期的に外来診察を行う必要があり、外来は大変混雑しています。予約なしでも外来受診は可能ですが、何時間もお待ちしているのが現状です。また、昨年に紹介受診重点病院となり、予約なしでも外来受診には選定療養費の支払いが必要となりました。かかりつけの先生から紹介をいただければスムーズに診療ができますので、ご協力いただければ幸いです。



第77回高知県医師会医学会

CBDCA, nab-PTX, pembrolizumab併用化学療法が奏効し、手術療法を施行できた肺扁平上皮癌の1例

令和6年8月17日に総合あんしんセンター3階大会議室、中会議室にて開催された第77回高知県医師会医学会にてCBDCA, nab-PTX, pembrolizumab併用化学療法が奏効し、手術療法を施行できた肺扁平上皮癌の1例という演題で発表させていただきました。この非常に歴史のある医学会は高知県の他の医療機関の先生方との交流の場であり、当日は、活発なディスカッションがおこなわれました。

非小細胞肺癌に対しては、手術療法、放射線療法、細胞障害性抗癌薬の3本柱の治療に加えて新たにpembrolizumab等の免疫チェックポイント阻害薬の登場によって治療成績が向上してきております。局所進行している非小細胞肺癌に対しては、一期的な手術療法が困難な

場合でも粘り強く免疫チェックポイント阻害薬を含んだ薬物療法を施行することによって外科的治療に繋がられる可能性があります。今回の発表に際しましては、呼吸器センター呼吸器外科の先山病院長先生、日野先生、南城先生に御指導いただき、呼吸器センター呼吸器内科の竹内臨床研究部長をはじめとする呼吸器内科の先生方にも御協力をいただき、無事に発表を終えることができ、大変貴重な経験をさせていただきました。この場をお借りいたしまして感謝いたします。



呼吸器内科医長
岡野 義夫

第20回日本医療マネジメント学会高知県支部学術集会

地震発生時の職員の安否確認の把握のためのシステム構築の取り組み

マグニチュード9クラスの南海トラフ巨大地震が発生すれば、高知市には高さ16m程度の津波が浦戸湾から浸入し、津波は高知市街地にも到達すると予想されています。当院は災害拠点病院であることや立地的な条件を踏まえ、地震発生時、迅速な被災者の受け入れ開始は使命であると考えています。院内のマニュアルでは高知市内で震度6以上を災害レベル3とし、全ての職員が自主的に登院することになっていますが、地震発生時の職員の安否確認の方法については決まりがなく、自主参集できた職員のみ安否の確認ができる状況でした。そこで、令和4年度より、副看護師長連絡会を中心に職員の安否や自主参集可能となる目安などを把握できるシステムの構築に取り組んでいます。無料のWeb会議アプリケーションのメッセージ機能を利用した「災害時伝言板」を「幹部用」「各職場用」を作成し、地震発生時に各自が自身のスマートフォンより「氏名」「安否状況」「登院可能となる時期の目安」を入力、職場長が

状況を確認し、災害対策本部に報告、本部で情報を集約するものです。防災対策委員会がメッセージの送信、集約の訓練時期を決め、令和5年度は4回訓練を実施しました。

令和6年8月25日に、高知市文化プラザかるぽーとで開催された第20回日本医療マネジメント学会高知県支部学術集会で、「地震発生時の職員の安否確認の把握のためのシステム構築の取り組み」というテーマでこれまでの取り組みと今後の課題について発表をしました。特別講演では、令和6年能登半島地震の際の被災直後からの状況、備えに対して現状がどのようであったかなど、臨場感のある対応報告を聞くことができました。また、多くの施設から災害に対応するための取り組みや工夫など発表があり、南海トラフ地震への備えを再度考える機会となりました。



副看護師長
河村 ひとみ



栄養管理室長
奥 悟

栄養管理室だより

レシ
ピ
紹
介

高知県で多く収穫される 【秋なす】のレシピ紹介

なす出荷量：全国第一位 シェア13%前後

秋といえば実りの季節、そして食欲の秋です。秋野菜は夏野菜に比べて水分が少ない為、味が濃く甘みが強いのが特徴の1つです。旬を迎える野菜には、里芋・甘藷(さつまいも)・蓮根などの根菜類をはじめ、舞茸やしめじ茸のきのこ類、ブロッコリーなどの青菜、栗や銀杏などの木の实があります。

きのこ類の多くは秋に旬を迎えます。ビタミンB群ビタミンDや食物繊維・カリウムなどが豊富で、低カロリー食材です。腸内環境を整えたい、疲労回復したいとの栄養サポートにも役立ちます。

秋から冬にかけて旬を迎える甘藷は、ビタミンCやパントテン酸が豊富で、皮にはアントシアニンや、多くのカルシウムが含まれています。

ゆっくり加熱するとアミラーゼ(酵素)が働いて甘さが引き立つ為、オーブンや蒸し器で時間をかけて熱を通すのが美味しく食べるコツの1つです。

国産のかぼちゃは夏から秋に収穫されますが、2~3か月間寝かせ十分に甘くなってから店頭に出るため、秋から冬に旬を迎えます。ビタミンB1・B2・C・E・β-カロテン・食物繊維などの栄養素が豊富です。かぼちゃは、保存性と栄養価の高さから「冬至に食べると病気になる」といわれてきました。カットしていないかぼちゃの場合は、常温で2か月程長く保存することが可能といわれています。

高知県で多く収穫されている、『秋なす』を利用したメニューを紹介します。

なすは夏野菜のイメージが強いのですが、秋に収穫される「秋なす」は、また違った美味しさがあります。夏のなすは水分を多く含んで瑞々しいのに対し、秋なすは日差しがやわらかい中育つ為、旨みと甘みが強く、実も皮も柔らかいのが特徴です。

あまりの美味しさから、【秋なすは嫁に食わずな】ということわざまで生まれたほど。一方で、意地悪な意味ではなく『なすはカラダを冷やすので、健康を気遣って食べさせたくない』という解釈で使用される場合があります。炒め物やお浸しといったさまざまな料理に使える万能野菜のひとつです。

秋なすときのことベーコンのソテー

材 料 (1人前)

- きのこ類(種類はお好みで)…0.5袋
- ベーコン…30g
- なす…60g
- パスタソース…大さじ1 適宜
※バターや黒コショウでもお好みで
- オリーブオイル…大さじ1
- 水…小さじ1
- ねぎ…適量

作り方

- ① きのこはほぐしておく。なすは1.5cm幅の半月切りにする。
- ② フライパンにオリーブオイル大さじ0.5を熱し、中火でベーコンを加熱する。
- ③ 焼き色が付いてきたら、①と残りのオリーブオイル大さじ0.5を加えてさらに加熱し、水を加えてふたをし、中火〜弱火で蒸し焼きにする。
- ④ 火が通ったら器に盛り、お好みでさざみねぎを散らす。





保育士
廣瀬 沙矢香

令和6年度 つくし花火大会

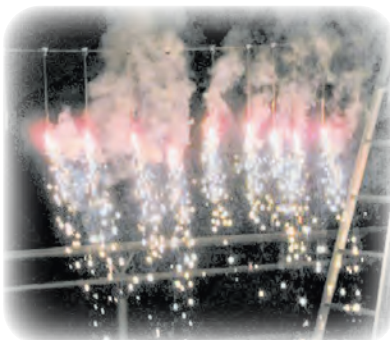
8月に療育訓練室前テラスにて「つくし花火大会」を実施し、重症心身障害病棟の利用者さんが参加されました。



コロナウイルス感染症流行時には中止となり、少しずつ落ち着きつつあった昨年度は各病棟内各居室からの花火観賞を行うという形での実施だったため、約3年ぶりのコロナ禍以前と同様に利用者さんが一堂に会しての開催となりました。



利用者さんのカウントダウンを合図に打ち上げ花火が上がりそれと共に花火大会がスタート！はじける様な吹き上げ花火や優美なナイアガラ等、さまざまな



種類の花火が夏の夜に輝きました。打ち上がる花火の音に負けないほどの歓声を上げる方や静かに花火の光に

魅入っている方など間近での花火をそれぞれに堪能されていました。また、以前より開始時間が早くなった今年は新たな試みとして昼用花火である「カラスモーク花火」も楽しみました。今年



カラスモーク花火

の花火大会は特に花火が上がる度にどこからともなく自然と拍手等が沸き起こるなど

集合しての行事ならではの賑やかさや盛り上がりを感じることのできる花火大会となりました。終盤になると、華やかだった花火の打ち上がる数もだんだんと



少なくなると、どこか心寂しいようなしっとりとした雰囲気になる場面もありましたが、最後

の吹き上げ花火終了時には一瞬の静寂ののち、その日一番の大きな拍手が会場全体を包んでいました。また、その余韻の中、手持ち花火も行い、最後の最後まで夏の風物詩である「花火」を満喫し尽くした行事となりました。





副看護部長
河村 ひとみ

感染管理室だより

看護専門コース公開講座 「感染管理分野」

看護部では平成24年度より認定看護師による専門看護研修を、地域の看護職員の方へも公開講座として開催しています。

今年度の感染管理分野の研修は全5回で構成し、1回目から4回目までは「感染対策の基本」「職業感染防止」「洗浄・消毒・滅菌」「医療処置関連感染防止対策」などの基本的な感染対策に関する内容を行いました。5回目は、「ノロウイルス感染対策」として吐物処理の演習を行いました。模擬吐物に蛍光塗料を混ぜておき、吐物に触れた後の手袋の汚染を視覚的に確認するなどし、効果的な学習となるよう工夫しました。

今年度は院内から5名の受講申し込みがあり、簡単な修了試験と全講義を受講していただいた3名に修了証をお渡しすることができます。地域の看護職員の方へも公開講座として開催していますが、今年度は残念ながら、院外からの受講申し込みはありませんでした。施設により特性や可能な感染対策についても違いがありますが、研修を担当する私自身にとって、自施設以外の施設での感

染対策を考える貴重な研修になります。今後も公開講座として開催できるよう、引き続き努力したいと思います。

5ヶ月という長期間にわたる研修ではありましたが、月に1回、受講者の皆様にお会いできることがとても楽しみで、あっという間の5ヶ月間でした。受講して下さる皆様にわかりやすく、正しい情報を提供できるよう、資料作成には毎回悪戦苦闘しました。その分、私自身知識の振り返りや整理ができ大変勉強になりました。

研修後受講者の皆様からは、「目に見えない細菌やウイルスの感染予防はすごく大変、1人1人の知識や技術、広めないという心がけがすごく大切だと思った」「面倒くさい、本当に必要なのか、理由がわからないと思いがらやっていたことが沢山あるが、理解、納得できた」などのご意見を頂きました。研修を通してそれぞれの部署での感染対策の実践、改善に、少しでも貢献できればと思っています。また、今後はさらに自己研鑽を積み、より分かりやすい講義ができるよう努力していききたいと思います。

第7回 (令和5年度)

高知病院 谷淳吉記念賞 表彰者

当院の前身である旧国立療養所東高知病院の元院長である故・谷淳吉先生の奥様からのご寄付を元に創設され、学会等の発表において高い評価を受けた職員、模範となる業績を上げた職員などを表彰しています。

作業療法士……………吉村 大輔 (学会発表・受賞)
小児科医長……………高橋 芳夫 (新生児診療)
呼吸器内科レジデント ……松村 有悟 (学会発表・論文)
チーム医療……………DMAT (能登半島震災)
チーム医療……………医療班 (能登半島震災)

副看護部長……………小笠原あゆみ (学会発表・受賞)
(現高松医療センター看護部長)

企画課長 外……………企画課 (3階) (病院外壁洗浄)
地域医療連携室長 外……………地域医療連携室 (医療機関訪問)
管理課長 外……………管理課 (年末調整システム導入)



医療安全管理係長
濱口 かおり

5S活動報告を終えて

当院では医療安全活動として5Sに取り組んでいます。

5Sは、各職場において徹底すべき5つの項目、「整理」、「整頓」、「清掃」、「清潔」、「躰（しつけ）」によって定義されています。そして、それらの5つの項目をローマ字で記述した際の頭文字が「S」であることが、5Sの名前の由来です。

この3か月間で各職場内の5Sに取り組みました。今まで気付くことができなかった無駄がなくなり、各職場の課題解決が進みました。

患者環境も超高齢化が進み様々なリスクが上がっています。患者さんの環境については日々の環境整備で整えられ

ています。また、職員の作業環境を整えることで、危険リスクの回避ができ、5Sで環境を整えることで、インシデントの減少に繋がると思います。今年度の参加部署は21部署でした。その活動報告の成果を称えるために投票しました。

今年度の優勝部署は6南病棟です。準優勝は1中病棟、3位は1北病棟でした。参加した全職員の医療安全に対する思い、取り組み内容をより多くの方々に知って頂ければ幸いです。今年度も5S活動へのご協力ありがとうございました。投票結果上位3位までを院内エントランスホールで継続し掲示しています。来院の際にはぜひご覧ください。

2024年度 5S活動報告 投票結果上位3部署はこちら

優勝（6南）

1

6南 愉快的仲間たちのお片付け術！



準優勝（1中）

2

河野マジック大作戦！！



3位（1北）

3

住所不定の物品たち～0秒収納をめざして～





実りの秋・学びの秋

～ 看護の素晴らしさを改めて実感! ～



3年生

10月16日(水) ケーススタディ発表会を終えて



2会場で、第60期生30名が
ケーススタディ発表!

発表後のディスカッション
にも熱が入っています!



2年生も聴講しました!
～真剣な眼差しで～



3年生 小島 聖生さん

ケーススタディ発表会を通して、自身の看護に向き合う姿勢を改めて振り返ることができました。同時に自分の考えを他者にわかりやすく伝える難しさも実感しました。さらに、クラスメイトの看護に対する様々な考えを知り、大変興味深く貴重な学びの機会となりました。



3年生 片岡 杏菜さん

ケーススタディに取り組み、私の実践した看護が、患者の身体的・精神的苦痛の緩和に繋がっていたことを明らかにすることができました。今後も、患者から信頼される看護師になることを目標にして、探究心をもって看護を深めていきたいと思えます。

2年生

10月18日(金)・19日(土) 第78回国立病院総合医学会に参加

教員 服部 景子

第61期生27名は、大阪国際会議場で行われた国立病院総合医学会に参加してきました。学生それぞれが学会抄録集を活用し、興味関心のある講演や示説を選択し聴講していました。初めての学会参加で、学生は研究発表の方法や質疑応答の態度を学んでいました。今回の学会参加が、今後の実習や看護研究の取り組みに活かせるよう支援していきたいと思えます。



自分たちのインタビューされた
データが研究として発表!



地域医療連携室だより



地域医療連携室
深木 智与



第12回地域医療連携連絡会を8月3日に三翠園で開催しました。新型コロナウイルス感染症の流行により5年ぶりの開催となりました。

高知県下の医療機関から医師や地域医療連携室職員の皆様方60名にご出席頂き、院内参加者を合わせて120名と盛会となりましたこと、改めて御礼申し上げます。地域医療連携連絡会は、地域の医療機関の皆様方と直接お会いし、当院について知って頂くと共に当院へのご意見を頂き今後の改善や紹介重点医療機関のPRに活かせるよう、顔の見える連携ができることを目的に開催しています。

特別講演は、高知大学防災推進センター 岡村真客員教授をお招きして「近づく南海トラフ巨大地震～事前の準備はお済ですか?～」をテーマに講演していただきました。地震や津波のメカニズム、実際の被災地の状況、事前にできる準備など具体的な取り組みを詳しくお話頂き、その後実際に講演の1週間後に地震があり、高知県に南海トラフ地震臨時情報が出され、災害拠点病院としての当院の役割を再認識しました。

当院の各診療科紹介としては畠山暢生内科系診療部長、木下宏実外科系診療部長が担当し、現在の各診療科の動向についてプレゼンテーションを行いました。意見交換会は、直前の新型コロナウイルス感染症第11波の感染拡大を考慮し、各医療機関の皆様方より現状や役割などを説明し、地域の医療機関が連携を図れるような情報交換ができました。

地域包括ケアシステムでは職員一人ひとりが、当院の役割を理解し、地域の医療・介護機関等と連携していくことが大切です。地域医療連携室は在宅療養推進に向けて、地域と医療・看護を繋ぐ退院支援や、患者・家族の望む支援を行い、各施設との連携を強化し、信頼される関係作りに努めていきます。

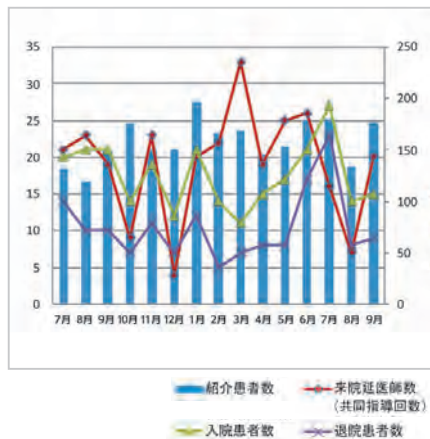


(地域医療連携室 職員一同)

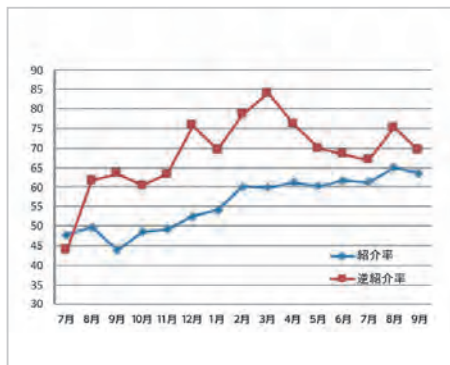
無事
成功して
ホッ。

地域連携等概況

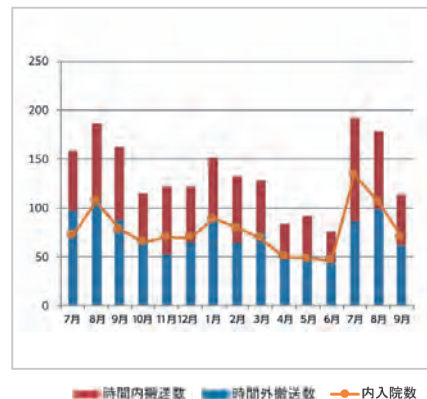
オープンシステム利用状況



紹介率・逆紹介率



救急搬送受診者数



外来診療担当表

■受付時間／8:15～11:00

■休診日／土曜・日曜・祝日
・12月29日～1月3日



独立行政法人
国立病院機構

高知病院

〒780-8077 高知県高知市朝倉西町1丁目2番25号
TEL (088) 844-3111 FAX (088) 843-6385
https://kochi.hosp.go.jp/



高知病院の
シンボルマーク

令和6年 11月 1日現在

診療科	区分・診察室番号		月	火	水	木	金	
内科	午前	1診	⑧・⑪		小松 直樹		篠原 勉(第1・第3週) 竹内 栄治(第2・第4週) ※第5週はありません	
		特別外来	⑩		岩原 義人(血液)	松森 昭憲(糖尿病)	岩原 義人(内科)	
	午後	専門外来	⑥			化学物質過敏症(予約制)		
神経内科			⑫	不定期(院内案内板に掲示しています。お電話にてお問い合わせ下さい。)				
呼吸器内科 アレルギー科	午前	1診	⑧	岡野 義夫	竹内 栄治	畠山 暢生	竹内 栄治	門田 直樹
		2診	⑥ ⑫		松村 有悟	新居 香織	町田 久典	
	午後	専門外来					禁煙外来 14:00～15:00(予約制)	
消化器内科	午前		⑨	林 広茂	池田 敬洋	高橋 早代		池田 敬洋
循環器内科	午前		⑦ ⑥	山崎 隆志	西村 直己(第2・4火曜) 中岡 洋子(第1・3火曜)	伊藤 いづみ(第2・4水曜)	山崎 隆志	
	午後		⑦			伊藤 いづみ (第2・4水曜) 受付16:00まで	ペースメーカー (第2木曜)	
リウマチ科			⑩	松森 昭憲				松森 昭憲
小児科	午前	1診	①	大石 尚文		齊藤 晃士	小倉 英郎 (アレルギー・化学物質)	大石 尚文
		2診	②	佐藤 哲也	高橋 一平	佐藤 哲也	前田 明彦	高橋 芳夫
		3診	③	高橋 一平	大津 祐也	小倉 由紀子(アレルギー)	第3週 医大医師(神経)	前田 明彦
	午後	専門外来 (予約制)		大石 尚文 小倉 由紀子 (アレルギー)	小倉 由紀子 (アレルギー) 佐藤 哲也 (院外出生乳健・他)	佐藤 哲也 (乳健・他) 高橋 一平 (乳健・未熟児)	小倉 英郎 (アレルギー・化学物質) 高橋 芳夫 (未熟児)	大石 尚文 (乳健・他) 前田 明彦 (乳健・他)
			予防接種	14:00～16:00(予約制)	14:00～16:00(予約制)	14:00～16:00(予約制)	14:00～16:00(予約制)	14:00～16:00(予約制)
外科 消化器外科 小児外科	午前		⑤・⑥	東島 潤	福山 充俊 (クーポンがん検診)	福山 充俊	中尾 寿宏 (クーポンがん検診)	金本 真美 (肝臓・胆道・膵臓外来)
	午後	専門外来	⑤		福山 充俊 (乳腺外来)			
呼吸器外科	午前		⑧ ⑦		先山 正二 日野 弘之		先山 正二 日野 弘之	先山 正二(予約制)
	午後		⑤			本田 純子 (クーポンがん検診)		本田 純子 受付15:30まで(クーポンがん検診)
乳腺科	午前		⑤	本田 純子 (クーポンがん検診)		本田 純子 (クーポンがん検診)		
	午後		⑤			本田 純子 受付15:30まで(クーポンがん検診)		本田 純子 受付15:30まで(クーポンがん検診)
整形外科	午前		① ②	福田 昇司(予約制) 吉川 紘平		吉川 紘平	福田 昇司 溝渕 周平	川真田 純
	午後		⑧				田村 竜也(予約制)	
脳神経外科	午前	1診	⑧			非常勤 診察時間 9:00～11:00(予約制) 予約外の方はお問い合わせ下さい		
	午後		⑧					非常勤 受付16:00まで
皮膚科 【全曜日予約制】	午前		⑬ ⑫			中島 英貴(第1・3・5週) 高知大学医師(第2・4週)		石元 達士(第1・3週) 高知大学医師(第2・4・5週)
泌尿器科	午前	1診	⑨	大河内 寿夫	石黒 基純	大河内 寿夫		大河内 寿夫
	午後	2診	⑦					石黒 基純 診察開始 10:00～
産科	午前		⑳	滝川 稚也	滝川 稚也	山中 絵里加 1ヶ月検診	甲斐 由佳	木下 宏実
婦人科	午前		㉑	木下 宏実 (クーポンがん検診)	甲斐 由佳 (クーポンがん検診)	木下 宏実 (クーポンがん検診)	滝川 稚也 (クーポンがん検診)	山中 絵里加 (クーポンがん検診)
	午後							ユースクリニック(予約制)
眼科	午前		㉒	戸田 祐子	戸田 祐子(予約制)	戸田 祐子	戸田 祐子(予約制)	戸田 祐子
耳鼻咽喉科	午前		⑯	福田 潤弥 高岡 俊	福田 潤弥 高岡 俊	福田 潤弥 高岡 俊	福田 潤弥 高岡 俊	福田 潤弥 高岡 俊
放射線科				塩田 博文	塩田 博文	塩田 博文	塩田 博文	塩田 博文

※ 市町村発行のクーポン券を利用される乳がん検診は、平日 外科外来／乳腺科外来にて行っています。診察も希望される場合は事前に外来までお問い合わせください。
※ 当日の受付は午前11:00までとなっております。